Ⅲ．令和５年度（2023 年）　教育本部執行方針

感染症対策を講じながら、４シーズン振りにすべての事業を行うことができました。この期間で学んだことを継続し、今後教育本部の事業運営を進めていきたいと考えています。

１．ジュニア事業への取り組み

ジュニア育成事業が困難な状況が続いていましたが、情報を交換し、県連を絡めたジュニア行事を少しずつ進めていかなければならないと思っています。全国的にジュニアの技術選の参加者の増加が見込めております。
まずは神奈川県スキースノーボード技術選のジュニア層の参加人数を拡充し、将来的にはブロック単位での大会（予選会）を開催していけるよう準備を行って行きます。

２．SAK 会員の活性化

指導者研修会・クリニックの内容は SAJ の研修課題をベースに、技術習得と、楽しさの伝達の２本柱で進めていきたいと思います。研修会は一方通行にならないよう、しっかりと理解していただけるよう、そして会員の方々がクラブ協会にその内容をお持ち帰りいただき、普及活動の柱となる様、技術員一丸となって質的向上に取り組みます。

３．マーケティング・普及活動

県技術選、ジュニアの大会等、県連各本部と協力し合いながら、参加者にも協賛協力企業様にとっても実りの多いものにしていきます。
新たな取り組みについて、様々な検討を進めてまいります。

４．有資格者の育成

ここ数年準指導員受検者も横ばいとなっています。もう１度指導者資格の意味・意義、指導の場での必要性を考え、各クラブ・各協会とともに受検者の増加を目指します。

５．他団体との連携強化

神奈川・千葉技術選、パトロール研修会にとどまらず、将来的には他行事での合同開催を視野に入れ、南関東ブロックで連携をとり、有意義な事業を共催していけるよう調整していきます。

６．人材育成への取組

技術員の技術保持・知識の向上を図り、より質の高い研修会、講習会が実施できるよう、ブロック研修会の更なる充実を図ります。
技術習得に対しより主体的活動ができるような、教育本部組織にしていきます。

技術選に出場している若い選手への資格の取得、技術員へのフィールドの提供を積極的に行います。

以上